

新刊

児童書

つきーとカーコのたからもの

(小学校低学年向け)

おくはら ゆめ 作 (佼成出版社)

ねこのつきーとカラスのカーコは、赤ちゃんのときから、たくさんあそんで、たくさんけんかしながら大きくなった。ある日、カーコの宝物が、つきーのせいになくなってしまい…。



一般書

ゲーム・スマホ依存から子どもを守る本
樋口進 著 (法研)

中高生の子どもの持つ保護者や教育関係者に向けて、子どもをネット依存症にさせない、またネット依存状態に陥っている子を救い出す方法を、マンガやイラスト、図表を使ってわかりやすく解説する。事例も掲載。



一般書

リモートワーク大全

壽かおり 著 (ポプラ社)

毎日集まらなくても良い働き方、リモートワークのノウハウを集めた本。リモートワークの基本から時間の使い方、自宅の作業環境を整える方法、オンライン会議のコツ、気分転換&健康管理法までを、多数の事例とともに紹介する。



一般書

青春とは、

姫野カオルコ 著 (文藝春秋)

コロナ禍のさなか、家でひきこもっていた女性が見つけた名簿と一冊の本。地方の高校に通っていた記憶が鮮明に甦る。彼女の胸に、35年の時を経てこみ上げる思いとは? 「オール讀物」掲載に加筆して単行本化。



こめいせい

町政あんない

キラリ健康ナビ

子育てひろば

情報コーナー

まなびすと

わいわいプラザ

豊山俳句クラブ 青山克己 選

木枯しがエレベーターにのつてくる

水野眞弓

当り前でなき日常や水引草

青山とも子

ハロウインの仮装は魔女よ赤き月

谷崎 琴

廻廊に躑躅冷たき坊泊り

岡島 齋

風だけが風の道知る芒原

高木須磨子

まつすくになだ一筋に芒道

山下敬太

芋の露ころころころと戯れし

黒澤裕子

この径は芒野原に消ゆる径

田村多喜子

冬隣私に大きく虹立てり

坪井昭子

故郷の包みほどきて冬近し

東海林宗義

秋霖やホスピスの燈の白々と

杉浦みどり

吊し柿伊吹の風を纏ひけり

坪井径子

秋を刈り草の匂ひをとどめをる

青山克己

豊山歌壇 水野笑子 選

空港へとさくら並木は続きあるこの

地を終の棲家とぞせむ

それなりに敬老の日とて子や孫ら草餅持ちて来る愛しさよ

柴田満枝

秋彼岸なればと今日の散歩道去年咲

きるし彼岸花探す

七日間必死に鳴きて終る蟬ころがり

落ちて蟻の餌にと

町道に椎の落葉の重なりて踏めばかさこそ秋を告げるや

小出寿枝

秋冷えにふと忍び寄る淋しさも生ある者の幸かとも思ふ

山田 米

今に残る旧街道の松並木伸びやかなれる樹形を持ちぬ

荒川昌枝

紺碧の空に鱗の雲流る待ちこがれるし秋を見つけぬ

遠見ゆるメタセコイアの並木道威風堂々青空占めて

御嶽を橋の上より眺めつつ未だ眠れる人らを想ふ

一柳千鶴子

母老いし頃よりのならひ早起きもそれ当り前心経終り

水野笑子

編集後記

新年あけましておめでと〜ございませす。しもやけになりそうな寒さの中で、新しい年(ヒール)を飲みながら、新しい一年の始まりを迎えた去年の元旦の朝日が懐かしく思えてくる。去年の今頃は皆様も新しい一年の始まりにあたって様々な夢を抱いて、初心を書初めなどに書いた方もいたと思う。広報特集やとよまチャンネルの番組で発表があった新町長の所信は今後の町政にとっての書初めであり、進むべき方向を示すものと言える。豊山町が皆様からすばらしい町と言われるように、これから始まる新しい町政をささえて、暮らしやすいまちづくりを全力で目指していきたい。▼広報表紙を飾った木遣りは年々高齢化で会員が減少していく苦境にあり、しかもコロナ禍で祭事がなかなか開催できなかったため、ひさびさりの出演となった。しかし、それでも、まったくブランクを感じさせず、耳にすっと染みる深い声に人々から歓声がよせられた。中世から続く木遣りのような日本の伝統文化を伝えていくために、今後も活動の様子を紙面で皆様にお届けしていきたい。▼撮影のあとでお祈りした祖父江善光寺も、コロナ対策の張り紙が目立った。初詣には予防を徹底してお出かけしていただきたい。そして、家に戻られたら必ずうがいと手洗いをお願いしたい。寒くなるにつれて、ますます勢力を増す新型コロナウイルスに對して、注意を引き締めなおして、今、行動しなれば、右往左往した昨年(の誤りを繰り返すことになる。今年もコロナ禍の年としないために、後でよい年だったと振り返り、令和3年(がコロナ禍に打ち勝った記念の年だと記録して終われますように、どうぞよろしくお願ひします。